

講演会型＋子育てサロン型＋在宅取組型（幼稚園）

学校名等	神戸町立下宮幼稚園
実施日時	9月24日(月)～30日(日)
会場	各家庭
参加人数	全園児
学習課題(分野)	子どもが喜ぶほめる1週間
運営者の願い	四園保護者会研修会「ほめる子育て」で子どもをほめることの大切さを学んだ。園のスローガンでもある子どもの自己肯定感を育てるための実践の場として、子どもをほめることを通して、親子の触れ合いを意識し、ほめる子育てを見つめなおす機会とする。
学 習 の 内 容	
<p>下宮幼稚園家庭教育学級 スローガン ほめる子育てで、子どもの自己肯定感を育てよう。</p> <p><講 話 + サロン> テーマ 「ほめる子育て」 講 師 : mama 育トレーナー 大西真寿美先生 対 象 : 全保護者</p> <p>① 子育てに「ほめる」ことは、本当に必要？ ② 我が家では・・・</p> <p><子どもが喜ぶほめる一週間 ～親子ふれあい週間～> 取り組みの記録用紙を作成、全園児に配布し、各家庭で記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの目的、内容を知らせる。 ・ほめる内容は、具体的に伝わるよう例文をつけ取り組みやすいようにする。 ・取り組みは、ほめることができた日に丸印をつける。感想などを記録し提出する。 ・提出されたものから、感想をまとめる。 <p><子どもの感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしかった。 ・ありがたいといってもらえてうれしい。 ・ほめられるとやさしい気持ちになる。ママ大好きになる。 ・ニコーと笑って嬉しそうにしていた。 ・チェックするところに“まる(印)”が増えると、嬉しい気持ちになる。 <p><保護者の感想から まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の感想だけでなく、子どもにも感想を聞く欄を設けた。子どもから発せられる言葉を聞き、ほめることの効果を実感される方が多かった。 ・意識してほめることの大切さを言葉をかけることで、ほめた後の子どもの表情を見届ける保護者の気付きがみられた。その表情が毎回違い面白いと感じられた方もみえる。(当然という顔、照れる、母ちゃんもありがとうねと返してくれる言葉など) ・ひよこ組(0・1歳児)～もみじ組(5歳児)の全家庭での取り組みであったが、年齢が低くても、ほめる言葉は、子どもたちにも伝わることを保護者自身が感じる感想が多かった。 ・ほめることでお互いが嬉しい気持ちになることに改めて実感した。 ・アンケートに保護者が自分自身を振り返る言葉が多く記入されていた。講演で聞かれた話を実践される姿があった。 ・普段は日常に追われ、怒る場面が多いと感じられた保護者が、取り組みを通して、“少し意識する”ことでプラスの言葉を増やすことができた実感された。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の活動に参加できる方は、限られてくるが、在宅取り組み方を行うことは保護者の意識を高める一つの有効な方法であると感じている。 	



ほめることの大切さを学んだ。
そのことを生活に生かすために、在宅取り組み方に取り組んだ。



各家庭に配布し、実施することで、講演会に参加できなかった保護者の方から、様々な感想をいただけた。

